# フリースクール全国ネットワークニュース

FREE SCHOOL NETWORK NEWS LETTER　　2014.10.20　No.51

*8.30 登校拒否・不登校を考える夏の全国大会*

今号の目次

Ｐ１　ごあいさつ
Ｐ２　フリースクール・不登校政策をめぐって
Ｐ３　多様な学び保障法を実現する会
Ｐ４　IDEC in 韓国 ご報告
Ｐ５　不登校・登校拒否を考える夏の全国大会 ご報告
Ｐ６　フリースクールスタッフ「養成・研修」講座
Ｐ７　フリースクールフェスティバル 2014
Ｐ８　秋のイベント情報／事務局より

## ごあいさつ「不登校から未来をつくる」

今年６月の理事会で、増田良枝さんと交替で代表理事に就任しました、寺子屋方丈舎の江川和弥です。福島県の会津若松でフリースクールをしております。私自身、かつて高校中退をした経験が今の自分の活動につながっております。二人の子どもも、順調に毎年交互に不登校を行っております。

私たちの活動を取り巻く状況は、最近の安倍首相の東京シューレ訪問にあらわれるように、劇的に変化しております。行政の意図ははかりかねるところもありますが、不登校の子どもの自己肯定感を育む場としてのフリースクールが評価されております。「ありのままのあなたでいい」「今のあなたが考える事からしかすべてがはじまらない」というあたり前の事を私たちはくりかえし、学びの現場で対話や活動をつうじて子どもと共有してきました。

逆に言えば､何かしなければ認められない､誰かの求めに答えなければ評価されない子どもが、大勢いるという事でもあります。「教育」という場としくみが、合わない子どもがいる。サッカーにたとえれば、教育の原点は何？ 教育行政自身が一度ゴールにボールを返して、再度ゲームを組み立てようとしているのかもしれないと感じます。教育の原点は、「生きていてよかった」とか「誰かの役に立てている」という実感を受け止める事からはじまると。

私が、社会人になってスタッフやボランティア採用時の面接を重ねていると、自信のない大人に良く出会います。外国の大学を出ようが偏差値が高かろうが関係ありません。

フリースクールで実践しているのは「根拠のない自信の製造」かも知れません。しかし、根拠なんかよりも、自分は何かできると自分を信じる方がはるかに大事だと思います。

代表理事として「根拠のない自信を大切に」できる事、必要な事を精一杯行いたいと思いますので、これからもよろしくお願いします。

フリースクール全国ネットワーク代表理事
江川和弥（特定非営利活動法人寺子屋方丈舎）

# フリースクール・不登校政策をめぐって

～これまでの成果と今後の展望～

私たちはフリネットが誕生して以来、ずっと学校外の学び・育ちのあり方を認めてほしいこと、公的支援があってほしいことを訴え続けてきました。学校へ通っている子だけが、税金で応援され、社会的にも存在を認められるなんておかしい、全ての子どもの学ぶ権利が保障されてほしい、と考えてきたからです。

でも、これまでは、フリースクールの出席認知や小中高在籍者の通学定期適用が認められた以外は、国として支援しよう、というはっきりした動きはなかなかありませんでした。

ところが、ここ 2～3 か月、政策の変わり目かな、と思えることがたて続けにおこっています。

6 月 3 日には、超党派フリースクール等議員連盟の設立総会がもたれました。これは、2 月ごろから私たちがロビー活動し働きかけてきたこと、民主党の林議員や自民党の馳議員たちが動いてくださった結果であり、当日予想以上の盛り上がりで、自民党の議員の口から「子どもの学習権保障」「どこで学ぶかではなく何を学ぶかが大事」など従来の学校復帰させるべきという発想ではない考え方が多く出され、予想以上の追い風を感じました。

7 月 3 日には、教育再生会議第五次提言がだされ、「国は不登校の児童生徒が学んでいるフリースクールなど学校外の教育機会の現状を踏まえ、その位置づけについて就学義務や公費負担のあり方を含め検討する」とありました。

8 月末には、来年度予算の概算要求に「フリースクール等への支援策」として新規に 9800 万円が計上されました。再生会議の提言を受け「（11）新しい時代にふさわしい教育制度の柔軟化の推進」として予算化されたのです。いじめ対策推進とは別枠です。

9 月 1 日には、文科省の中に「フリースクール担当」が、きちんと 2 名配置されました。

そして、9 月 10 日には、安倍総理が東京シューレを視察しました。「フリースクールにどのような支援が必要か検討するため」だそうで、35 分間、特に子どもと卒業生と交流して帰られました。「学び方・育ち方はいろいろあることを伝えたい」と子どもにも記者にも語りました。

また、9 月 18 日には「フリースクール議連」の視察が東京シューレにあり、これは丁寧に 2 時間、やはり子ども・卒業生との懇談に最も時間を割き、いろいろ質問されていました。そして秋に、院内学習会を持つことを約束くださいました。

こう見て来ると、国は、これまで 30 年間放置していたフリースクール等で学び育っている子どもに目を向け、何らかの支援を考えなければならないと考え、動きだしていることは事実です。全ての子どもたちの学ぶ権利を保障するのは当然のことで、学校へ行っている子のみ応援されるのは差別されていたことで、変えられなければなりません。では、どのような支援の仕方になるか、それが重要です。みなさんの知恵と経験を生かし、国の政策に、今こそ反映させていきましょう。

（奥地圭子：東京シューレ・フリースクール全国ネットワーク）

## 第二回 オルタナティブな学び 実践交流研究集会

多様な学び保障法
を
実現する会

日　時：2015 年 2 月 7,8 日（土,日）
会　場：I-site なんば（大阪府立大学）
主　催：オルタナティブな学び実践交流研究集会実行委員会
共　催：多様な学び保障法を実現する会
　　多様な教育を推進するためのネットワーク（おるたネット）

第一回実践研究交流集会の様子（2014 年 2 月）

2 月 7 日（土）8 日（日）、大阪府立大学 I-site なんばにて、第 2 回の「オルタナティブな学び実践研究交流集会」を開催します。いろんな立場の人が集まってわいわいがやがやおしゃべりしながら進めていくのが関西のスタイル。今回も、スクール関係者だけでなく、大学の研究者、保護者や学生の方などがあつまって、実行委員会を形成し、毎月 1 回、20 人くらいが集まって準備を進めています。実行委員の年代も 10 代～70 代と幅広く、年齢や立場を越えて、対等にアイデアを出し合っています。

今回は、ゲド戦記の翻訳者である清水真砂子さんをメインのゲストにお迎えすることになりました。清水さんの講演がある 1 日目を一般向き、2 日目をオルタナティブ教育の関係者向きに設定する予定で、詳細を詰めていっているところです。全国のみなさんにも、実践発表やブース出展などいろいろ関わっていただければと思います。12 月にはご案内をお送りできると思いますので、ぜひふるってご参加いただければと思います。

9 月に安部総理が東京シューレを視察し、政府もフリースクール等の多様な学びの場を支援することを検討し始めました。2 月の実践研究交流集会でも、2 日目に多様な学び保障法のことを重点的に取り上げようと考えています。

関西でも、2 か月に 1 回、多様な学び保障法についての学習会を開催しています。大学の研究者、スクール関係者、公立学校現場の方、学生の方など、多様な顔ぶれが集まり、骨子案の項目について、一つひとつ議論をするというカタチで進めています。

学び方は人それぞれ。いろんな学び方があっていい。いろんな学校があっていい。そんな思いや考え方が、もっともっと人々の間に広がってほしい。そのために一人ができること、一つの団体ができることは限られていると思います。けれども、私たちそれぞれが手を取り合い、ネットワークをつくり、知恵を出し合いながら、ともに進むのなら、大きな一歩を踏み出せると思います。

私たちの、横のつながりをもっと確かなものにするためにも、2 月はぜひ関西にお集まりください！一人でも多くの子どもたちが、自分に合った学びの場で自分らしく学んでいける社会を一緒につくっていきましょう！

（藤田美保：箕面こどもの森学園）

# IDEC2014 in 韓国 ご報告

（International Democratic Education Conference/世界フリースクール大会）

■大会の概要

2014 年 7 月 28 日から 8 月 3 日までソウル郊外のガンミョン(光明)市で IDEC が開催されました。2012 年に開催を立候補した時は、子ども実行委員の出身校であるビョプシスクールが開催者として名乗りを上げましたが、最終的には IDEC2014 開催実行委員会の主催となりました。実行委員会の中核メンバーは、ビョプシスクールの卒業生がつくった地域で子どもの遊びや学びの相手をする活動をしている団体とオルタナティブ大学を立ち上げた若者メンバーです。このメンバーをビョプシスクールとガンミョン市の生涯学習センターがバックアップする形で進められました。会場は、ガンミョン市の総合体育館、野外音楽場、隣接するハンブク小学校でした。

海外からは 17 カ国から 100 人あまりでした。海外からの参加者で最多は日本からの 40 人弱で、大会側が招待したミャンマーとネパールがそれぞれ 20 人弱、台湾から約 10 人、アメリカから 3 人、他の国からは 1 人から 2 人の参加でした。韓国からの参加は非常に多く、毎日 300～500 人ほどが参加していたそうです。韓国各地のオルタナティブスクールの子ども、スタッフ、親たちを中心に一般の学校の教員、学生、などが参加しました。

今回の大会の特徴は主催した実行委員に 20 代のメンバーが多く、若者の問題に関心が高く、基調講演などに若者の生きにくさやオルタナティブスクール出身者の進路のことなどが取り上げられていました。

■大会のプログラム

大会の時程は 9 時半からミーティングがあり、10 時から基調講演、午後からは複数会場で同時並行的に講演、パネルディスカッション、ワークショップなどが 3 コマ(一コマ 90 分)あり、夕方にはホームベースという参加者を十数人程度の小グループにランダムに分けて交流できるようにした時間が用意されていました。その後は夕食があり、食後はコンサートや映画の上映などが準備されていました。

（朝倉景樹：シューレ大学・フリースクール全国ネットワーク）

■フリースクール全国ネットワークとして■

2004 年のインド大会以来、11 年ぶりのアジア開催、フリースクール全国ネットワークとして参加ツアーを実施できたのも、2005 年のドイツ大会以来の 10 年ぶりです。この大会に参加して得てきたことを皆様とシェアできるよう、11 月 22 日フリースクールフェスティバル、2015 年 1 月の JDEC などの機会を活かし、報告会を開催予定。また、簡単な報告集も制作する予定です。

また、次回の IDEC はニュージーランドで 4 月 9 日～12 日に開かれる予定です。

【子どもの権利条約批准 20 周年】

## 【25 回記念】登校拒否・不登校を考える夏の全国大会 2014 in 浦和

■魅力あふれる多彩な子どもプログラム

8 月 30~31 日の 2 日間、子ども交流全国合宿を埼玉県さいたま市（浦和）で行いました。3 年ぶりの関東での大会に加えて、25 周年の記念の大会ということで、実行委員の子どもたちも準備に気合が入っていました。

準備にあたったのは、フリースクール東京シューレと東京シューレ葛飾中学校、フリースクールネモ、フリースクールりんごの木の子どもとスタッフで、半年ほど前から実行委員会を重ねてきました。また大阪のフリースクールフォロも企画を出してくれました。その甲斐があって、事故もなく、楽しく魅力あふれる多彩な企画を行うことができ、当日は全国各地から約 460 名の参加がありました。

ただ、せっかくの関東での大会だったので、もっと色々なフリースクール、フリースペースを巻き込めることができたらということと、地方からの参加や一人で参加した人がどう感じたのか、もっと仲良くなれる工夫はなかったのか、ということを感じました。

どうしても比較的規模の大きな団体にいると、小さいところが見えにくくなります。秋に行われるフリースクールフェスティバルでも同様の課題があると思いますが、色々な団体と関わり、交流し、関係を深めていける何かを考えていき、試してみることが大切だと思います。

（鎌倉賢哉：フリースクールりんごの木）

■みなさん、ありがとう

主として学校外で育っている子どもや親の人たち、フリースクールの人たちが、年に一回全国から集まって学んだり、遊んだり、交流したりするようになって 25 年、今年は、浦和で 8 月 30,31 日に開催しました。大人・子ども合わせて約 460 人の参加があり、多彩なプログラムで盛り上がりました。

25 年間、どんな年も大事にしてきたのが、当事者から学ぶ、という姿勢であり、今回も、子ども・若者シンポジウム、親シンポジウムの生の体験が聞けて、とっても良かった、子どもの気持ちに気づけた、などの感想をいただきました。講演では、96 歳の大田堯さんの「生きること・学ぶこと」に心を揺さぶられ、25 回を記念して不登校について内田良子・多田元・山下英三郎さんの 3 人講演をお願いし大好評でした。分科会も 9 つに分かれテーマ毎に話し合い、エンディングでは、来年の山口県での開催を確認、散会しました。

このような大会ができたのも、多くの人の協力があってのことで、全ての関係者の方々に心より感謝しています。2 つの全国ネットの協力の賜物でもあると思っています。今年参加できなかった方、来年ぜひお会いしましょう。

（奥地圭子：東京シューレ・フリースクール全国ネットワーク）

## 第７回 JDEC（日本フリースクール大会）＆
## フリースクールスタッフ「養成・研修」講座

日　時：2015 年 1 月 10 日（土）～1 月 12 日（月・祝）
会　場：国立オリンピック記念青少年総合センター
参加費＆申込方法：準備中につき、しばらくお待ちください

2014 年度の最後には、JDEC（日本フリースクール大会）が開催されます、6 月 3 日の「超党派フリースクール等議員連盟」の誕生から 9 月の「文科省にフリースクール担当官配置」「首相のフリースクール視察」等々、大きく潮目が変わる可能性を感じる昨今、行政の支援や補助のないなか、志を持ちつつ、地道に活動を続けてきた私たちは、なにを掴み、なにを訴えていくべきでしょうか。たっぷりと情報・意見の交換ができるプログラムを作りたいと考えています。

また、JDEC に続いて同会場でフリースクールスタッフ「養成・研修」講座も開催。フリースクールの事を一から学びたい皆様のための「基礎講座」と、フリースクール等で働く上での「悩み」や「喜び」を語り合い、あらたな知見や活力を分かち合う「経験者編」の二本立てのプログラムです。

フリースクールが注目されている今だからこそ、あらためて「フリースクールとは何か」わたしたちの作り上げてきた価値を共有し、発信していきましょう。

（松島裕之：フリースクール全国ネットワーク）

毎年冬に開催をしていたフリースクールスタッフ「養成・研修」講座、今年は秋にも神戸市で開催をすることができました。

関東圏以外の人にも、参加しやすい機会を作りたいという事務局の提案と、地域のネットワークを活かして活動を広めたいという関西圏の加盟フリースクールの提案が合わさり、実現することとなりました。

参加者は約 50 名、例年の東京開催とは違い、日帰りでのプログラムとなりましたが、基礎講座となる「フリースクールとは何か」から「子どもシンポジウム」、二つの時間帯に分けた合計六つの分科会、そして参加者交流会と、丸一日をかけ、充実した内容となりました。

企画づくり当日の運営、シンポジストの紹介、実践報告など、多くの力を発揮してくださった関西圏の加盟フリースクール等の皆様、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

また、自団体の実践や理念を多くの人に伝えていきたい。スタッフやボランティアに、他のフリースクールのスタッフと交流し、学べる機会を作りたい、というような事がありましたら、ぜひ事務局までご連絡ください。今後も各地でフリースクールスタッフ「養成・研修」講座を開催していきたいと考えています。

## フリースクールフェスティバル 2014
## ～こんなに楽しいのは全部妖怪（みんな）のせいだ～

日　時：2014 年 11 月 22 日（土）10：30～16：30（開場 10：00）
会　場：東京シューレ葛飾中学校（JR 総武線「新小岩」駅徒歩 10 分）
参加費：無料

※独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

今年も「フリースクールフェスティバル」の季節がやってきました。「フリースクールフェスティバル」は、全国のフリースクール等が連携して開催する合同文化祭で、ネットワークの結成以来、毎年各地でおこなわれています。

今年のフェスティバルは 11 月 22 日（土曜日）東京シューレ葛飾中学校で開催。サブタイトルの ～こんなに楽しいのは全部妖怪（みんな）のせいだ～ という言葉には、楽しい事も、苦しい事も、不思議な事も、原因を探してやきもきするのではなく、ありのままを受け入れていこうというような意味や。フェスティバルをつくっている実行委員も、参加をしてくれるみんなも、妖怪のように（？）多様な人がいて、だから面白いという意味も込められています。

現在は子ども実行委員会を中心に企画作りの真っ最中、百鬼夜行（コスプレパレード）、ライブハウス、ステージ発表、スタンプラリー、映像作品上映コーナー、ポニー乗馬体験、そして、元 THE BLUE HEARTS のドラマー、梶原徹也さんを講師にお迎えしての打楽器ワークショップ等の実行委員会企画や、それぞれのフリースクールの持ち込み企画・活動紹介。そして今年はさらに、7 月末から 8 月頭にかけて韓国光明市で開催された IDEC（International Democratic Education Conference／世界フリースクール大会）報告会や、大きな動きを見せつつある国・文科省のフリースクール・不登校等に関する政策の動きについて取り上げる時間、フリースクールで育った子ども・若者によるシンポジウム、不登校・フリースクールに関する無料相談会なども開催します。

フリースクールに通う子どもたちとともに楽しみたい！という方はもちろん、フリースクールの事について知りたい・学びたいという方、わが子の不登校・進路等で悩んでいるという保護者の方にもご満足いただける企画を用意してお待ちしています。

また、次のページでは、各地の加盟団体が開催する公開イベントの一部をご紹介しています。それぞれのイベントの詳細については、それぞれのイベントにお問い合わせください。

フリースクール全国ネットワークホームページにも、それぞれのイベント詳細や、あらたなイベント情報を掲載していく予定です。

（松島裕之：フリースクール全国ネットワーク）

## 秋のイベント情報

※他にもたくさんの公開イベントが開かれます、フリスクール全国ネットホームページ内「イベントカレンダー」もご覧ください

**東京ＹＭＣＡ liby・高等学院主催 連続講演会**
～第１回 講師：石川憲彦さん（児童精神科・小児科医　林試の森クリニック院長）～
日時：11 月２日（日）
会場：東京ＹＭＣＡ山手コミュニティーセンター（新宿区）
参加費：2,000 円　（学生は 1,000 円）
お問合せ：東京ＹＭＣＡ“ｌｉｂｙ（リビー）”　TEL:03-5988-7832（12 時～19 時半）

**こどもゆめフェスタ(子どもゆめ基金助成活動)**
日時：11 月３日（月・休）
会場：さぬきこどもの国（高松市）
お問合せ：NPO 法人四国ブロックフリースクール研究会　TEL：090-7623-6496

**フリースクールフェスティバル～からふる～**
日時：11 月８日（土）13：00～17：00
会場：大阪市立青少年センター ココプラザ（大阪市）
入場料：500 円（19 歳以下無料）
▼お問合せ：ふりー！すくーりんぐ　TEL:06-6776-2629（ラヴニール内）

**バリアフリーコンサート**
日時：11 月 29 日（日）
会場：浜松駅前広場キタラ（浜松市）
出演：制服向上委員会、大文字、DF、POWER OF HOPE　他
お問合せ：ドリーム・フィールド　TEL：053-422-5203

**■フリースクール全国ネットワーク　会員募集中■**

フリースクール全国ネットワークをともに創り、支援して頂ける会員を募集しています。総会での議決権を持つ正会員は、当法人の目的と活動に賛同し、ともに活動をつくってくださるフリースクール等の団体が対象。支援会員は、当法人の目的と活動に賛同し、参加・ご支援をしてくださる個人や団体が対象です。

多くの皆様の力と知恵を集め、フリースクール等の活動や、そこで学び・育つ子どもたちを支えるため、ご入会をお待ちしております。

**□正　会　員□**
フリースクール全国ネットワークの活動をともに創っていくフリースクール等の団体
入会金 2,000 円 年会費 1 口 6,000 円（2 口以上）

**□支 援 会 員□**
フリースクール全国ネットワークや各地のフリースクールの活動を応援する個人や団体
入会金なし 年会費 1 口 3,000 円

**■お振込先■**
**[郵便局から]**
普通預金　口座番号　00130 - 5 - 611018
加入者名　特定非営利活動法人
フリースクール全国ネットワーク
**[銀行から]**
ゆうちょ銀行　〇一九支店（ゼロイチキュウ）
金融機関コード：9900　店番：019
預金種別：当座　口座番号：0611018
口座名　特定非営利活動法人
フリースクール全国ネットワーク

**発行・お問い合わせ先**
NPO 法人フリースクール全国ネットワーク
〒114-0021 東京都北区岸町 1-9-19
TEL&FAX：03-5924-0525
E-mail：info@freeschoolnetwork.jp
URL：http://freeschoolnetwork.jp/
Twitter：https://twitter.com/#!/freeschoolnet
FB: http://www.facebook.com/freeschoolnetwork